

その1：補助事業の具体的取組内容

以下①～③を十分に踏まえ、補助事業において「何をどこまでするのか」「どのようなスケジュールなのか」を明確にして説明してください。書面審査では審査項目に記載の観点から評価をしますので、公募要領「第6章 事業計画書の審査」やミラサポplus(「ものづくり補助金の書き方」<https://mirasapo-plus.go.jp/hint/7654/>)の記事も参照し、作成を進めてください。

<参考：審査における項目 ミラサポplus「ものづくり補助金の書き方」から抜粋>

技術面	<ul style="list-style-type: none">● 製品やサービスの開発が革新的であるか?● 課題解決の方法が明確で具体的か?
事業化面	<ul style="list-style-type: none">● 事業化の方法・スケジュール等が具体的か?● 製品・サービスの市場性はあるか?● 企業の収益性・生産性は向上するか?
政策面	<ul style="list-style-type: none">● 地域経済への貢献など、国の政策に合致しているか?

- ① 本事業の目的・手段について、今までの事業者の取組の経緯・内容をはじめ、今回の補助事業で機械装置等を取得しなければならない必要性を示してください。また、課題を解決するため、不可欠な工程ごとの開発内容、材料や機械装置等を明確にしなが、具体的な目標及びその具体的な達成手段を記載してください（必要に応じて図表や写真等を用い具体的かつ詳細に記載してください）。
事業期間内に投資する機械装置等の型番、取得時期や技術の導入時期についての詳細なスケジュールの記載が必要となります。
- ② 応募申請する枠に応じて、事業計画と「中小企業の特定期間ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に関する指針」又は「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」との関連性及び取り組みの革新性・独自性を説明してください。
- ③ 本事業を行うことによって、どのように他者と差別化し競争優位性を実現するか、シェアや競争力の強化を実現するかについて、顧客のターゲット、販売方法やビジネスモデル、事業の実施体制など、具体的に説明してください。
- ④ 地域の資源の活用や地域経済への貢献など、国の政策に合致する取り組みであるかを、ご自身の見解で構いませんので説明ください。

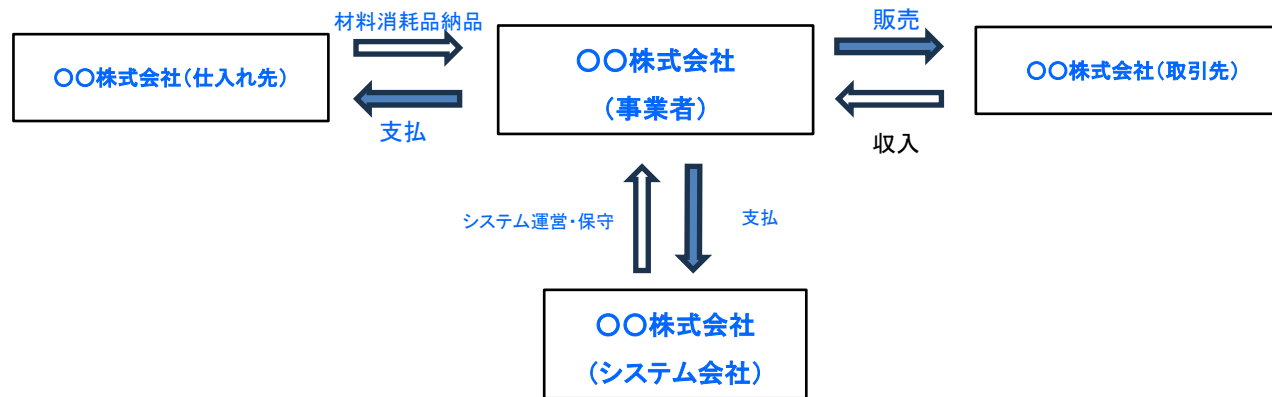
●補助事業の背景

現在の事業者の事業内容

経営理念・目標・動機	※活動の目的・取組課題と社会的意義（ミッション・ビジョン）がわかるように記載ください。
経営戦略	※経営理念を実現するための、具体的な戦略（事業領域、成長戦略、事業者の経営資源、事業者の経営哲学を浸透させる取り組み等）がわかるように記載ください。
事業コンセプト	※対象エリア、具体的ターゲット、提供サービス・商品がわかるようにご記入下さい。
事業内容	①商品・サービスの具体的内容と価格 ②競合に対する差別化・強み、セールスポイント ③事業者の製品やサービスが顧客に提供できている価値
競合・市場など事業者を取り巻く事業環境と自社の経営戦略の関係	※市場の需要、他社との生産力・供給力・生産体制の違い、業界で抱える課題に加えて、自社のマーケティング戦略がどう生きていくのかわかるように記載ください。

事業者のビジネスモデル

※現在のビジネスモデルについて記載してください。必要に応じて図でも示してください。



事業者の売り上げ状況（主力としている事業等）

（単位：千円）

	202 年度	202 年度	202 年度
売上金額			
売上総利益			

	課題・改善方針検討																									
5. 調整改善	〇〇再検討																									
6. 稼働・実装	セキュリティ対策																									
	保守・管理																									

補助事業の実施体制

※事業者内での役割分担や外部との連携を明らかにし、誰が何をするのかについて具体的に記載してください。機械機器・システムの開発については、内製か外注かを明確にしてください。

その2：将来の展望

会社の売り上げや利益を向上させていくには「その1：補助事業の具体的取組内容」を実施する計画を立てるだけでなく、その後の事業化に向けた市場や顧客の分析を実施していく必要があります。

「事業化に向けて想定している市場」「期待される効果」を明確にして説明してください。

《SWOT分析》

戦略策定やマーケティングの意思決定、経営資源の最適化などを行うためのフレームワークで、強み、弱み、機会、脅威を、マトリックスで組み合わせ解釈をすることで、多面的な分析をすることができます。

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<強み> ・自社や自社商品の長所や得意とするところ。 内部環境のプラス要素。	<弱み> 自社や自社商品の短所や苦手とするところ。 悪影響を及ぼすと考えられる内部環境のマイナス要素。
外部環境	<機会> 社会や市場の変化などにより、自社や自社商品にとってプラスに働く外部環境のプラス要素。	<脅威> 社会や市場の変化などにより、自社や自社商品に悪影響を及ぼすと考えられる外部環境のマイナス要素。

その3：会社全体の事業計画

事業計画期間における会社全体の事業計画を作成してください。

(単位：円)

	基準年度※1 [年 月期]	1年後 [年 月期] 事業完了年月日 [年 月 日]	2年後 [年 月期]	3年後 [年 月期]	4年後 [年 月期]	5年後 [年 月期]
① 売上高						
② 営業利益						
③ 経常利益						
④ 人件費						
⑤ 減価償却費						
付加価値額(②+④+⑤)						
伸び率(%)						
⑥ 設備投資額						